

【別紙様式】

平成 26 年度 津山市立加茂中学校

改善プラン「平成 26 年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12 月）

	学校の取組・改善方法 (課題に対する改善方法)	進捗状況 (学期末時点)	3 学期及び来年度へ向けて (具体的な達成目標や数値目標等)
	グループ・ペア・班活動、ホワイトボードや ICT を利用して、表現力や説明力を高める。	B	ICT 活用を、小グループの教え合い学び合いとともに、さらに全教科に広める。
	基礎基本の充実をさらに図る。(前時の想起・復習、プリント、小テスト、)を授業の中に取り入れる。	B	前時の想起・復習、プリントや小テストを利用することができる。チャレンジテスト(数学)での反復練習で 80% の正解率になるようにする。(3 学期)
	岡山県学習スタンダードを基本にした授業作りを行う。	A	授業の時間設定を徹底する。授業のまとめ、振り返りを徹底する。
	放課後の補充学習を計画的に行っていく。(3 年生)	B	チャレンジテスト(数)で基礎の力をつける。(3 学期)
	小中連携(魅力ある授業作り)を学校間で取り組んだり、家庭学習など家庭との連携を取っていく。	B	小中での公開授業をさらに活発にしていき、中 1 ギャップの解消をさらに高める。(3 学期) 家庭学習など、宿題や課題提出はほぼ 90% 以上の提出率であるがさらに高めていく。(三者懇談・学級通信などの利用)
	到達度テストを利用し、学習内容の定着を図るようにする	C	到達度テストを利用し、年間の定着度の確認をする。(3 学期)
	ボランティア活動や学校行事や地域行事を通して達成感や自己肯定感をさらに高めていく。	B	今後も同様に実施し地域に貢献していく。

進捗状況・・・「S：目標を大きく上回った(100%を超えている)」「A：目標を十分達成できた(85%以上 100%未満)」「B：目標を概ね達成できた(70%以上 85%未満)」「C：目標をある程度達成できた(50%以上 70%未満)」「D：目標をあまり達成できなかった(30%以上 50%未満)」「E：目標を達成できなかった(30%未満)」